

「TURN in BRAZIL」開催

東京都とアーツカウンシル東京が主催し、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの文化プログラムの先導的役割を果たすプログラムとして始まった「TURN」。今夏、リオデジャネイロ 2016 オリンピック・パラリンピック競技大会時に現地において実施し、会期中延べ 4 万人の来場者を迎えました。そして 10 月、今回、文化庁が国立新美術館において開催する障害者とアート・デザインの未来をめぐる展覧会「ここから—アート・デザイン・障害を考える 3 日間—」の連携事業として、ブラジルで発表された作品の展示を含む活動報告を実施します。

TURN in BRAZIL

「TURN」はアーティストの日比野克彦氏による監修のもと、異なる背景や習慣を持ったさまざまな人々との出会い方、つながり方に創造性を携え働きかけていくアートプロジェクトです。ブラジルでは、日本及びブラジルを拠点に活動するアーティストたちが伝統工芸を携えて、サンパウロに滞在しながら福祉施設に通い、施設を利用する障害のある人や地域の人たちなどの日常に触れながら関わり合っていく交流プログラムを実施。そして、そのプロセスを通して生まれた作品等をリオデジャネイロでワークショップとともに紹介しました。

帰国後の本展では、映像等を通してその成果を紹介するとともに、国を越え、コミュニティ特性を超えて出会い交流したブラジルでの経験を報告します。アート、福祉の実践者をゲストに迎え、プロジェクトメンバーが「TURN in BRAZIL」で取り組んだアートと社会の新たな関係性から更なる可能性を探ります。

■「TURN in BRAZIL」概要

- ・期 間：2016 (平成 28) 年 10 月 21 日 (金) ～10 月 23 日 (日)
- ・開 館 時 間：10 月 21、22 日は 10 時から 22 時まで、23 日は 10 時から 18 時まで ※入場は閉館の 30 分前まで
- ・会 場：国立新美術館 企画展示室 2E ※文化庁主催「ここから—アート・デザイン・障害を考える3日間—」展の連携事業
- ・入 場 料：無料
- ・監 修：日比野克彦 (アーティスト、東京藝術大学美術学部長・美術学部先端芸術表現科教授)
- ・主 催：東京都、アーツカウンシル東京 (公益財団法人東京都歴史文化財団)

■TURN in BRAZIL 帰国報告会「地球の裏側で TURN する」

会場：「TURN in BRAZIL」展示室内

10 月 21 日 (金) 20:30～21:30 「レポート：TURN in BRAZIL」

登壇者：日比野克彦、五十嵐靖晃、瀧口幸恵、畑まりあ

10 月 22 日 (土) 14:00～15:30 「Autista と Artista ～自閉症児療育施設「PIPA」で糸と向き合う～」

登壇者：五十嵐靖晃、高野賢二

10 月 22 日 (土) 17:30～19:00 「参加と共有 ～伝統工芸に集まった新しい人々～」

登壇者：太下義之、James Jack、西山マルセーロ

10 月 22 日 (土) 20:00～21:30 「余白と未完 ～異なる他者との過ごし方～」

登壇者：佐藤慎也、福森伸、日比野克彦

10 月 23 日 (日) 13:30～15:00 「小さなまちと福祉施設 ～地域に寄り添う、人に寄り添うアートプロジェクト～」

登壇者：芹沢高志、山野真悟、吉本光宏

10 月 23 日 (日) 16:00～17:30 「クロージングトーク：言葉にする、言葉に残す」

登壇者：日比野克彦、奥山理子

※本帰国報告会では、手話通訳者を配置しています。事前の予約等は必要ありません。ぜひご利用ください。
※プログラム内容は変更になる可能性があります。

<参考>「ここから—アート・デザイン・障害を考える3日間—」概要

会期：平成 28 年 10 月 21 日 (金)～23 日 (日)

会場：国立新美術館 企画展示室 2E 入場：無料

主催：文化庁 共催：国立新美術館、東京都、アーツカウンシル東京 (公益財団法人東京都歴史文化財団)

<取材のお問い合わせ先>

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 広報担当：森 (隆)、圓城寺

TEL：03-6256-8432 E-mail：press@artscouncil-tokyo.jp